

令和4年度諫早市ACP市民講演会

『いつか来る自分の最期』を 考えてみませんか？

日時: 令和5年3月4日(土) 14:00~

場所: 諫早市立たらみ図書館 海のホール

講演会

「アドバンス・ケア・プランニング - 思いのかけらを紡ぐ - 」

講師 ちひろ内科クリニック 土屋 知洋 先生

アドバンス・ケア・プランニング ー思いのかけらを紡ぐー



◆ACPとは

いつか来る自分の最期に備え、あなたの大切にしていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるかなど自分自身で考え、家族や医師、ケアマネジャーなど信頼する人たちと繰り返し話し合うことです。

【講演内容】

- ・人生の最期をおかえる時の動画の事例をもとに、自分だったらどうするか、家族の場合はどうするか、意見が異なる場合はどうするかについて会場に問いかけられた。
- ・ACPの実際の進め方などについて説明され、「ACPは取り組むきっかけがつかみにくい。日頃の会話の積み重ね、本人の大切なこと、心の支えを話し合うプロセスが大事。」と締めくくられた。

【アンケート抜粋】

- ・動画で、家族が医師から治療の選択を迫られる場面など具体的に想像できてよかった。
- ・向き合うことを避けてきた議題だったが、とても大切なことだと思った。今日が始まりの1歩ですね。

アドバンス・ケア・プランニング ー思いのかけらを紡ぐー

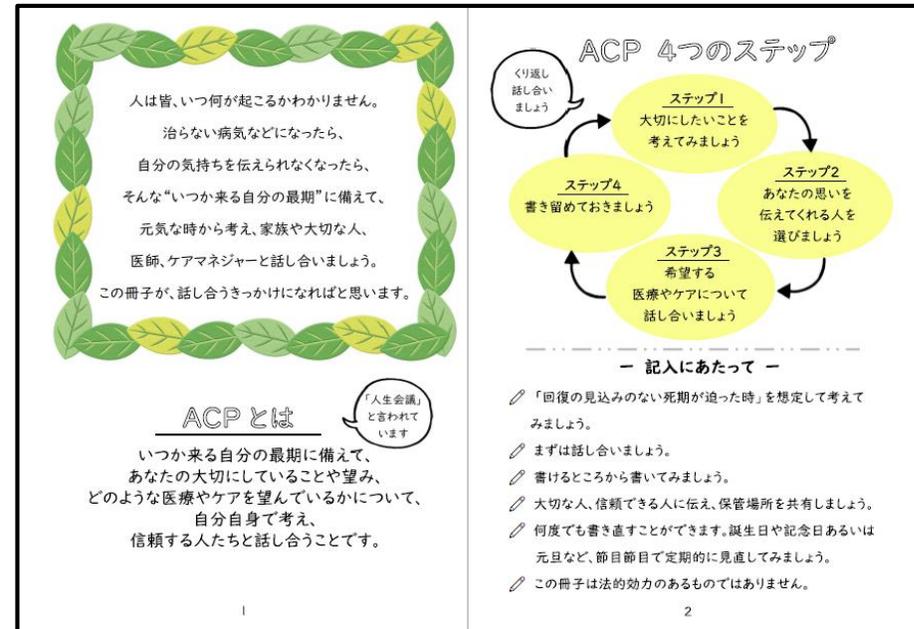
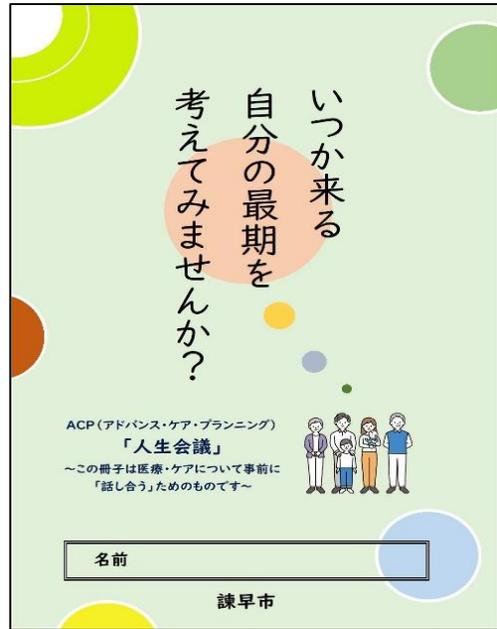


【資料にメモしている様子】



【講師からの問いに挙手で答えている様子】

私の思いを書いてみよう



【内容】

- ・諫早市が作成したACP冊子「いつか来る自分の最期をを考えてみませんか？」の説明
- ・大切にしたいこと、思いを伝えてくれる人、希望する医療やケアについて考えて書いてみよう。

【アンケート抜粋】

- ・良いお話が聞けて、冊子にも記入できて本当に良かった。
- ・改めて自分の死に方をじっくり考えることができた。

ACP等についての本紹介



【本を手にとってしている様子】

【概要】たらみ図書館内にあるACPや在宅医療などに関する本を紹介した。